

地域ごとのまちづくり計画対話シート

作成日：令和4年（2022年）1月11日

作成者：（課名）政策推進課

（氏名）田外 仁志

1 基本情報

項目	入力欄
まちづくり協議会名	宝塚市長尾台小学校区まちづくり協議会
地域ごとのまちづくり計画	<p>【基本目標】</p> <p>6. 環境「豊かな自然を活かし、快適で安らぎのあるまちづくり」</p> <p>【具体的な取り組み】</p> <p>（2）きずきの森の活用 ア 住宅地からのアプローチがしやすい通路の整備</p> <p>但し、今回の対話は「まず『きずきの森内の車両通行への反対及び駐車場の新設』にかかる内容について、政策推進課との対話をすすめる」と、市民協働推進課を通じて確認済み。（R3.10.15）</p>
取組内容の関係課	<p>政策推進課</p> <p>施設マネジメント課</p>

2 対話の状況

(1) 実施概要	
ア 日時：	令和3年(2021年)11月18日 10:00~12:00
イ 場所：	宝塚市立中央公民館 205学習室
ウ 出席者：	以下のとおり <まちづくり協議会> 長尾台小学校区まちづくり協議会 ●● <関係課> 政策推進課 河本課長 係長田外
(2) 確認できたこと	
<p>①政策推進課は配布資料(資料名「花屋敷グラウンド周辺整備事業について」)に基づき、主に次の内容についての情報を共有するため説明を行った。</p> <ul style="list-style-type: none">• これまでの経緯や今後の予定• 基本構想(案)の概要• 事業遂行における課題• 花屋敷グラウンド南側に住む花屋敷荘園住民有志の方々から、アクセス道路(川西市側からのアクセス)の整備について、また、整備されるまでの間のグラウンド利用者へのルール遵守及び交通課題に対する改善策を求める要望書が市へ提出されたこと• 上記要望書を踏まえ、市(政策推進課・道路管理課・スポーツ振興課)と住民有志による協議を行い、その一環として、グラウンド入場門に至る宝塚市道の現地調査を行ったこと• 上記現地調査の結果をもとに、道路管理課は根上り対策など道路補修工事を実施したこと• 政策推進課としては、きずきの森内の既存アスファルト舗装道を旧独身寮解体除却工事等の車両動線のひとつとすること及びアクセス道路として整備することが最善と考えていること• アクセス道路予定地には一部民有地があり、隣接地権者から筆界確認に協力することの同意を得ていないため、用地買収が完了していないこと <p>②環境部会は、きずきの森北側の駐車場からグラウンドに至る基本構想(案)のアクセス道路を通行する車両(工事用車両および消防車など緊急車両や福祉車両を除く)に起因する騒音・排気ガスによるきずきの森の自然破壊及び身体障害者を含めた森内散策者の車両事故防止の観点から、当初よりアクセス道路についてグラウンド利用車両の通行に反対する立場であったことを表明した。</p> <p>また、花屋敷荘園住宅地内をグラウンド利用車両が通行することによる車両事故発生の不安を多数の住民が抱えていることは理解しており、花屋敷荘園住民の安全ときずきの森の自然を守るという2つの課題の解決策として、地域ごとのまちづくり計画の作成において宝塚医療大学横に駐車場の新設を要望したことを表明した。</p> <p>③ただし、これらは未だ長尾台小学校区まちづくり協議会として意思決定した統一見解ではない。</p> <p>④とはいうものの、地域活性化などの観点から、北雲雀きずきの森や花屋敷グラウンド、旧独身寮跡地という既存ストックを有効に活用することが望ましいとの考えは両者で一致している。</p> <p>ただし、コミュニティとして、基本構想(案)ではグラウンドでの大きな大会のためにきずきの森内に大型バス駐車場を整備する計画があるが、サッカーコートが一面しか取れないグラウンドで大きな大会を開くことは不可能であるとの見解を表明した。</p> <p>⑤そのため、今回は各々の思いや私見なども出し合い、出席者間で共有する場とした。</p> <p>(次回の協議については特に予定無し)</p>	
以上	